

極秘

機密第100號

十月六日

十月三日提出

舞鶴海軍航空隊（串本基地）戦闘詳報

第八號

舞鶴海軍航空隊

17.10.30
接収

1387

舞鶴海軍航空隊（串本基地）戦闘詳報

第八號

昭和十七年十月六日

一、當隊哨戒機商船ノ前路警戒中六日一三〇市江崎燈臺ニ七五度

二、五哩（報告位置市江崎燈臺ニ八四度ニ哩）ニ於テ潛没潜水

艦ヨリ漏出シツツアル油（潜水艦ノ實體ヲ認め得ズ）ヲ發見

一三三ニ之ヲ報告一三四〇爆撃セリ

口受領セル令達

阪警電令作第五三號 十月六日 一五五〇

（一）一三三ニ味方哨戒機ハ市江崎ノ二八四度ニ哩ニ敵潛没潜水艦

ヲシキモノノ油ヲ認ム

（二）海面防備部隊及航空部隊ハ各指揮官ノ定ムル所ニ依リ之ガ

掃蕩攻雷ニ任ズベシ

八天候

曇、西ノ風ニ米、視界四十料、海上平穩、透視良好

三計 畫

イ命 令

飛行機隊ハ全カヲ以テ敵潜水艦ヲ連續攻電スルト共ニ味方水

上艦艇ヲ誘導スベシ

ロ使用飛行機

零式水上偵察機 三機

ハ飛行機編制

一飛能澤健二	中尉 荒木 泰彦	一飛 松田 與惣治	掃 縦 員
二飛 曾中村 高尾	三飛 曾高橋 金一	三飛 曹森山 春信	偵 察 員
二飛 小原 峻	二飛 山根 幸男	三飛 曹赤島 三夫	電 信 員
各機 六番 各爆 四彈			兵 装

三、經過

備	一飛曹 高橋 與一	一飛曹 長道 場吉男	三飛曹 赤島 三夫
考	中尉 藤田 正雄	三飛曹 木滑 正造	三飛曹 高橋 金一
印	一飛 松田 與惣治	三飛曹 森山 春信	二飛 山根 幸男
ハ機	留式旋回機銃 各一		
長ヲ示ス			

昭和十七年十月六日一一五〇ヨリ一八〇〇迄零式水上偵察機三機（延機數六機）ヲ以テA哨区沿岸並ニ阪警電令作第五三號ニ依ル攻再實施森山機（第一回）ハ一三〇〇市江崎ニ七五度ニ五哩ニ於テ潛没潜水艦ヨリ漏出シツ、アル油ヲ発見一三四〇爆撃續イテ各機一七四五迄爆雷及水上艦艇ノ誘導ニ任ズ

各機ノ行動經過次ノ如シ

森山機（第一回）

一一五〇發進市江崎西方ニ於テ商船ノ前路哨戒中一三二〇市江崎燈

臺二七五度ニ五哩ニ於テ點々ト北方ニ進ミツ、湧出スル油紋ヲ
発見之ヲ敵潛ヨリ漏出スルモノト判断ニ掃海隊ノ一隻ヲ誘導
一三二五爆雷投射開始次イテ五ニ駆潛特務艇ヲ誘導一三四〇爆雷三
彈投下一四一〇五ニ駆潛艇爆雷投射開始ヲ認ム、一四四〇 歸着
荒木機
一三四五発進江住沖ヲ南下中ノ第九日東丸ヲ誘導シツ、一三五五現
場着一四一一爆雷開始四彈投下一四五五爆雷終了爾後監視ニ任ズ
一五三五歸着

中村機

一三五〇發進第九日東丸ヲ誘導シ、一四一二現場着一四四〇爆雷開
始四彈投下一五一〇爆雷終了爾後監視ニ任ズ、一六一五歸着

道場機

一五一五發進一五三五現場着千鳥ノ誘導及監視ニ任ズ千鳥一七〇〇現

場着 一七一〇 爆雷投射開始ヲ認ム 一七三五 歸着

藤田機

一五五五 發進 一六一〇 現場着 艦艇ノ誘導及監視ニ任ズ 千島ノ爆雷効

果大ニシテ油盛ンニ湧出シツ、アルヲ認ム 一七五〇 歸着

森山機 (第二回)

一六四五 發進 一七〇〇 現場着 艦艇ノ誘導及監視ニ任ズ 一七四〇 爆雷一
彈投下 一八〇〇 歸着

四 効 果

イ 各機ノ爆雷ハ敵潜水艦ノ實體ヲ認メ得ザリシ爲直接ノ効果ハ

不明ナルモ油湧出量ノ増大等ヨリ判断シテ大ナル効果アリシ

モノト認ム

ロ 味方水上艦艇ノ誘導ハ適切ニ行ハレ爆雷投射攻雷ノ効果甚大

ナリシモノト認ム

八油八同地点ヨリ十月十三日迄七日間湧出セリ効果確實ナリト

認ム

五 我加兵力ノ現状

イ 消耗兵器

六番ニ號爆彈

六

六番陸用爆彈

六

ロ 味方被害 ナシ

六 功績

イ 海軍三等飛行兵曹森山春信指揮ノ一機(第一回)ハ克ク潛没

敵潜水艦ヨリ漏出スル油紋ヲ發見潛没敵潜水艦ニ對シ爆薬ヲ

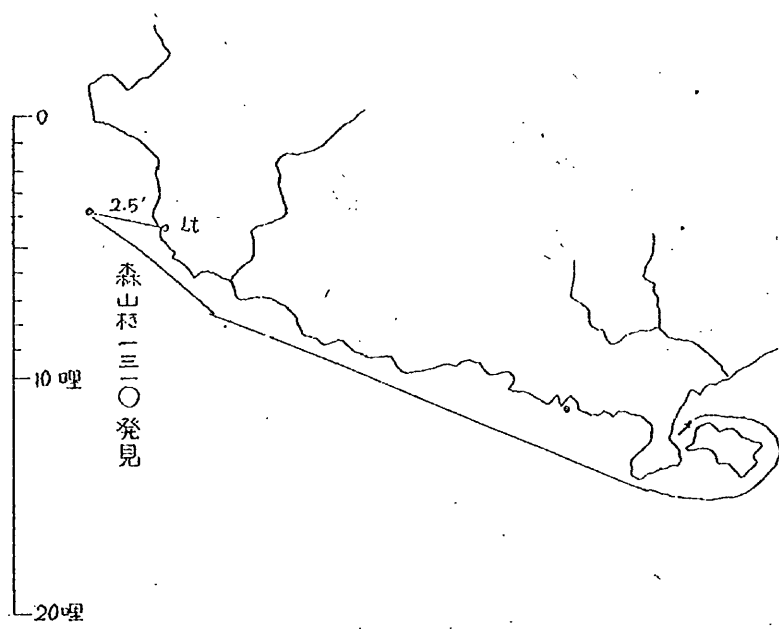
加ヘ且水上艦艇並ニ僚機ノ誘導ヲナシタルハ其ノ功績極メテ

大ナルモノト認ム

ロ 海軍中尉荒木泰彦海軍二等飛行兵曹中村高尾ノ指揮セル各一

機ハ水上艦艇ノ誘導並ニ潛没敵潜水艦ニ對シ爆雷ヲ實施直接
 効果不明ナルモ其ノ功績尠カラザルモノト認ム
 公海軍中尉藤田正雄海軍飛行兵曹長道場吉男ノ指揮セル各一機
 ハ水上艦艇ノ誘導並ニ監視ニ任ジ其ノ功績尠カラザルモノト
 認ム
 七所見
 ナシ

飛行機隊行動圖並彈着圖



機名	発進	帰着	敵発見	爆着	効果
森山村	1150	1440	1310	1340	不明
荒木村	1345	1525	1355	1411	不明
中村村	1350	1615	1412	1440	不明
道場村	1515	1735	1535		
藤田村	1555	1750	1610		
森山村	1645	1800	1700	1740	不明

